

故村松祐次教授著作目録

(○)チは単行書 *印は書評 **印は翻訳

昭和一八年(一九四三年)

「日支合併企業について」 『国際経済研究』国際経済調査所

昭和一九年(一九四四年)

「法幣の敵性と円域」(学界展望) 『一橋論叢』一三卷四号

昭和二二年(一九四七年)

「奴児哈赤の女真国とその部族的秩序との交渉」

『一橋論叢』一七卷三・四号

昭和二四年(一九四九年)

「樂城県と寺北柴村——中国の県と村——」

『一橋論叢』二二卷一号

『中国経済の社会態制』(現代経済学叢書二四)

東京、東洋経済新報社、四十八四〇〇頁

昭和二五年(一九五〇年)

「戦後日本の近代中国研究の動向」(文献展望)

「中国工業化の条件と形態」

『一橋論叢』二三卷一号

「中共土地改革の二つの時期」

『世界経済』五卷三号

「中国近代経済史」東京商大一橋新聞部編

『一橋論叢』二三卷五号

「経済学研究の栞——東洋経済史篇」東京、春秋社

「いゆるる中国の飢餓と重税」 『世界週報』三一卷六号

「後進国の近代化」(江口朴郎報告、討論参加) 東京大学東洋文化研究所『東洋文化』四

*清水盛光著『中国の郷村統治と村落』(昭和二五年、日本評論社、一二三頁)

*清水盛光著『中国族産制度攷』(昭和二五年、岩波書店、二

一九頁) 『社会経済史学』一六卷四号

昭和二六年(一九五一年)

「中国における自由と資本主義」 『東洋文化』六

「義和拳乱——一九〇〇年——の政治的背景」 『一橋論叢』二六卷五号

『一橋論叢』二六卷五号

(149) 故村松祐次教授著作目録

- 昭和二十七年(一九五二年)
「義和団乱の社会経済的背景」 『一橋論叢』二八巻四号
- 昭和二十八年(一九五三年)
『中央の土地改革』 東京 外務省アジア局第二課、二八頁
「土地改革と工業化について」現代中国学会『現代中国』一八
「The "Boxers" in 1898-1899, The Origin of the "I-ho-Chuan" (義和拳) Uprising, 1900' *The Annals of the Hitotsubashi Academy*, Vol. III, No. 2. April.
*仁井田陞著『中国の社会とギルド』(昭和二十六年十一月、東京、二八九頁) 『社会経済史学』一八巻六号
「中共史のアメリカ的研究」 増田四郎編『現代歴史学の新動向』東京、如水書房
「中国の土地改革と工業化」 一橋大学経済研究所編『経済研究』四巻四号
「中国経済建設の現段階」 『世界経済』八巻一一号
「太平洋戦争勃発と日本経済」 日本外交学会編『太平洋戦争原因論』第一二章、東京、新聞月鑑社
「中共貿易の基本条件」 『アジア問題』八、六一一五頁
- 昭和二十九年(一九五四年)
*根岸佑著『中国のギルド』(昭和二十八年四月、日本評論社、五〇九頁) 『一橋論叢』三一巻二号
「中国の土地改革」(講)
- アジヤ政経学会『アジヤ研究』一卷一号
*天野元之助著『中国農業の諸問題』(上、技報堂、昭和二十七年、三七四十二頁。下、昭和二十八年、三〇二一六頁)
『アジヤ研究』一卷一号
*鈴江言一著『中国解放闘争史』(昭和二十八年、石崎書院、一八五六八十三頁。)
『アジヤ研究』一卷一号
*フエアバンク、ブランド、シュウォルト共著『史料的中国共產主義』(C. Brandt, B. Schwartz, J. K. Fairbank, *A Documentary History of Chinese Communism*, Cambridge, Mass. 1952, pp. 532)
『アジヤ研究』一卷一号
「中国共産党の公式文件に現れた『封建』及び『反封建』という語の意味について」 『一橋論叢』三二巻四号
「国家財政と地方財政」(第六篇経済建設第四章財政金融第一節)、「財政収入制度」(第六篇第四章第二節)、「財政收支の規模と形態」(第六篇第四章第四節)、「土地制度」(第七篇産業第一章農業第二節)、「国際收支と資本移動」(第八篇外国貿易第五章)、『アジヤ政経学会編』『中国政治経済綜覧』(分担執筆)
- 昭和三十年(一九五五年)
「義和拳、清廷、列強——平原事件から涑水事件にいたる——」 一橋大学研究年報『経済学研究』一
*中国関係官庁資料二種(国立国会図書館一般考査部編『中華人民共和国法令索引』一九五四、一四六頁、経済審議庁計画部計画一課『中国経済統計集』一九五四、六二頁)

『アジア研究』一卷三号

*楊松、鄧力群原編、榮孟源重編『中国近代史資料選輯』(北京、一九五四年、八三〇頁) 『アジア研究』一卷四号

「涿水事件と列国の出兵——義和拳の研究——」 『一橋大学創立八〇周年記念論集』下巻

「東洋經濟事情」

『一橋論叢』(一橋学問の伝統と反省、特集号)三四卷四号
「初期の中国共産党と農民」

『アジア・過去と現在』(近衛霞山公五〇年祭記念論集)、『東京「Perspectives of the Industrialization Policy in Communist China」

K. E. Stuart (ed.): *Contemporary China*, Hong Kong U. P.

昭和三十一年(一九五六年)

「中国の第一次五ヶ年計画と農業」 『一橋論叢』三五卷一号
「中共五ヶ年建設計画の構造と問題」

日本外政学会編刊『中共』

* Saeki Tomi, 'Shindai Wainan en hamo no sodatsu ni tsuite' (*Shirin* 39, pp. 265—284, 383—402)

R. B. S. 1956, pp. 105—106

* Kubo Noritada, 'Ikkandō hokō' (*Tōyō Bunka Kenkyūjo* Kyō, 11, pp. 179—212) R. B. S. 1956, p. 217

「賈弁(華掌櫃)・合股(合夥)・合作社」マハンの戦争、中国国民党、浙江財閥、中国共産党、土地改革、三反五反運動、中国人

民政治協協商会議、中国人民代表大会、共産党宣言、第一インターナショナル、パリ・コンミュニオン、第二インターナショナル、ロシア革命、第三インターナショナル(コミンテルン)、コミンフォルム、太平天国の乱、辛亥革命、国民革命、中共革命、セボイの反乱、ラダイト運動、チャーティスト運動、フェビアン協会、ラッサーナル派社会主義運動、水平社運動、戦前日本の労働運動、無産政党運動、五・四運動、五・三〇事件、クリスト教労働組合運動」(以上の各項目)

高橋泰蔵・増田四郎編『体系、経済学小

辞典』東京、東洋經濟新報社

「農業集体化と百家争鳴」 『アジア研究』三卷一号

「中国經濟建設の現段階と問題点」(『資料』二—一二)

自立經濟調査会刊

'Nationalism and Communism in China'

Asian Affairs, vol. 1, No. 4, The Asia Kyokai.

昭和三十三年(一九五七年)

「中共政権の建設計画と日中貿易」

『外交季刊』二卷一号、一〇〇—一〇八頁

* ユージン・ステイレー『後進国の将来』東京、日本外政学会

昭和三十四年(一九五九年)

Japanese studies of Communist China

Soviet-Asian Relation

Conference, Report no. 7, School of International relation, University of Southern California, Los Angeles, June.
「会党」義和団(資料集)、「義和団(会党)」「義和団事変」各項
目 『アジア歴史事典』第一巻、東京、平凡社

昭和三十五年(一九六〇年)

「アメリカ、ヨーロッパの中国学管見」

『アジア経済』一卷三号

「清代の紳士——地主における土地と官職——浙江省永康県胡民試費義田をめぐって」 『橋論叢』四四巻六号

‘Some Themes in Chinese Rebel Ideologies’

A. F. Wright

(ed.): *The Confucian Persuasion*, Stanford University Press.

昭和三十六年(一九六一年)

「清代のつむゆる『蘇松の重賦』について」

『橋論叢』四五巻六号

*波多野善大著『中国近代工業史の研究』(京都、一九六四年、五五六—三二頁) 『東洋史研究』二〇巻二号

「中国貿易と日本」

『金融ジャーナル』二巻八号、四九—五三頁

昭和三十七年(一九六二年)

「清末蘇州附近の一租棧における地主所有地の徴税・小作関係

——江蘇省呉県馮林・棧地丁漕糧関係簿冊について——」

一橋大学研究年報『経済学研究』六

「旗地の『取租冊檔』および『差銀冊檔』について」

(上)『東洋学報』四五巻二号(下)『東洋学報』四五巻三号

昭和三十八年(一九六三年)

「国立国会図書館収蔵の『魚鱗図冊』について」

一橋大学研究年報『経済学研究』七

「清末の江南における小作条件と小作料の催迫について——江蘇省呉県范氏義莊、同呉氏雷経棧の『召田』・『承攬』・『租田』・『字条』・『切脚』および『出切備査』冊の研究——」

一橋大学研究年報『社会学研究』五

「二十世紀初頭における蘇州近傍の一租棧とその小作制度——

江蘇省呉江県費氏恭寿棧関係『租籍便査』冊の研究——」

近代中国研究委員会編『近代中国研究』第五輯

‘Revolution and Chinese Tradition in Yenan Communism’

Hitosabushi

Journal of Economics, Vol. 3, No. 2, June 1963, pp. 25—36.

『海外における最近の中国研究の状況』(アジア経済研究シリーズ第四五集)

東京、アジア経済研究所、iv—一五四頁

昭和三十九年(一九六四年)

「最近注目した若干の中国地主制関係文書について——哈仏燕

京研究所収蔵の租籍その他——」 『東洋学報』四六巻四号

151

「清末民初の江南における包攬關係の実態とその決算報告——蘇州吳氏倉裕棧」報銷各号備查』冊の研究——」

近代中国研究委員会編『近代中国研究』第六輯

* ヴァンター・バーセル著「義和団の蜂起——その背景の一研究」(V. Purcell, *The Boxer Uprising: A background study*, Cambridge, 1963.) 『東洋学報』四七卷三号

昭和四〇年(一九六五年)

* Purcell, V.: *The Boxer Uprising, A background study*, Cambridge 1963, xiv+349)

Bulletin of School of

Oriental and African Studies (BSOAS.) Vol. XXVIII, No. 1. (中共農業特別セミナー) 司会 村松祐次 報告 石川滋「中国の農工・ランスについて」 『共産圏問題』九卷一号
「中国近代化の土地問題」 『歴史教育』一三卷一二号

昭和四一年(一九六六年)

* ヤン・ワット・ダートン『中国のあま村からの報告』(Jan Myrdal, *Report from a Chinese Village*, London, 1965, 34+374, p.)

近代中国センター『近代中国研究センター彙報』七

「近代中国の地主文書について——その種類と性質——」(一九六四年一月東洋文庫講演)

* 天海謙三郎著『中国土地文書の研究』(昭和四一年 勁草)

一三十八六十六頁)

『東洋学報』四九卷二号

'A Documentary study of Chinese Landlordism in the Late Ch'ing and the early Republican Kiangnan.'

BSOAS. University of London, Vol. XXIX, Pt. 3. Oct.

『私中国観』 黎明叢書一六号一八頁

村松祐次・氣賀健三「中共の孫治方經濟理論の批判をめぐって」 『共産圏問題』一〇卷一二号、六三—七二頁

昭和四二年(一九六七年)

* 中国研究の近刊叢種——Franz Michael: *The Taiping Rebellion history and documents*, Vol. 1, History (Seattle, 1965):

J. Chester Cheng: *Chinese sources for the Taiping Rebellion*, 1864—1950. H. K. d. 『一橋論叢』五七卷一号

「中国共産主義の修正」 欧ア協会『共産主義』の『修正主義』について(研究叢書第五号)

'The Land Problem in the Modernization of China' *Acta Asiatica*, 12, Tokyo, Tôhō gakkai,

* 'Tai-ping tien-kuo yin shu' 20 vols, prefaced and annotated by Lo Erk-Kang, Shanghai, 1961.

RBS, 7, pp. 143—144, Mouton et. Co. Paris.

* Ching Heng and Lin Yen-chiao (edit.): "T'ai-p'ing tien-kuo koming hsing-chih wen-ti tao-lun chi" Peking, 1961.

RBS, 7, pp. 144—145, Paris.

* Chin I-chou, "T'ai-p'ing tien-kuo yen-chiu shu-p'ing"